



国内の若手医師を米国のがん研究施設に派遣するプログラム RFL マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞 授賞式

RFL マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞とは？

公益財団法人日本対がん協会は、2010 年度から米国における留学研修プログラムを推進しています。これは、日本国内の意欲ある若手医師が、がんについての高度な知識を学ぶため費用の一部を助成するものです。

これまでに 9 名の医師がテキサス大学MDアンダーソンがんセンターで研修する機会を与えられました。今年から新たにシカゴ大学医学部にも同プログラムが立ち上がり、合計 3 名が今後 1 年間の研修を受けることに決定しました。

RFL マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞受賞者 (敬称略)

研修先：テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター (2 名)

- 岩瀬 俊明【千葉大学附属病院勤務 臓器制御外科医員】
- 及川 将弘【にゅうわ会及川病院 乳腺外科副部長】

研修先：シカゴ大学医学部 (1 名)

- 鳩貝 健【国立がん研究センター東病院勤務 消化管内科がん専門修練医】



昨年の授賞式の様子

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」への寄付金をもとに運営

運営の資金は、がん征圧・患者支援の「リレー・フォー・ライフ・ジャパン (RFLJ)」に寄せられる寄付です。日本対がん協会が、各地のボランティア実行委員会と一緒に、一年を通して寄付金集めやリレーイベントなどを開催しています。RFLJ は今年で 10 周年を迎え、2016 年度は全国 51 ヲ所で開催する予定です。

「患者中心」のがん医療を日本に

がん患者やそがん患者・家族の方々の支援には、がん医療を充実させることが重要です。広い視野をもち、強いリーダーシップのもと患者・家族に寄り添える医師の養成が欠かせません。欧米に比べて遅れているとされる臨床試験の推進を中心に学んでもらう予定で、患者を中心とした医療システムに触れてもらうことも重要と考えています。米国で学んだことを日本の各地の実情に応じて工夫し、患者中心の医療を日本に根付かせてほしいという願いをこめています。

米国大使館と共催でパネルディスカッション

授賞式後にはパネルディスカッションを開催します。医学留学がいかに関米双方のがん治療ならびに研究の利益になるかについて、MOD のような留学・研修プログラムが、専門的能力開発にどのような影響を及ぼしたかについて医学留学研修プログラム経験医師がお話しします。若手研究者・医師の皆様をはじめ、この分野にご興味のある皆様方、ぜひご参加ください。(申込) <https://business.form-mailer.jp/fms/8b79cba854410>

(先着順。定員に達し次第受付を終了いたします)

これからのがん医療の発展と、医学留学について語ります。
ぜひ取材をご検討ください。

日時	4月26日(土) 17:00 開場
会場	アメリカンセンターJapan ホール 東京都港区赤坂 1-1-14 NOF 溜池ビル 8階
第1部	MOD 奨励賞授賞式
17:15～	開会挨拶・受賞者紹介 (公益財団法人 日本対がん協会会長 垣添忠生)
17:20～	MD アンダーソンがんセンター 奨励賞授与・目録贈呈と受賞の言葉 (受賞者2名)
17:40～	シカゴ大学 奨励賞授与・目録贈呈と受賞の言葉 (受賞者1名)
17:40～	期待の言葉 (リレー・フォー・ライフ・ジャパン ボランティア代表 坂下千瑞子)
17:55～	写真撮影・閉会 ※敬称略
第2部	パネルディスカッション(日本対がん協会—米国大使館 共催)
18:30～	◆ <u>医学留学研修プログラム経験医の挨拶</u> 昭和大学病院 乳腺外科 腫瘍外科医 増田紘子(第1回 RFL マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞受賞者) ◇ <u>パネルディスカッション</u> 「日本のがん研究の発展 および未来のがん専門医の育成を目指して」 ＜司会進行＞ 在日米国大使館 経済・科学部 科学技術・環境医療課長 アレクシー・クラル ＜パネリスト＞ テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター 腫瘍内科教授 上野直人 シカゴ大学医学部 血液腫瘍内科医師 ケネス・コエン 国立がん研究センター東病棟 乳腺・腫瘍内科 先端医療開発センター 新薬臨床開発分野 腫瘍内科医 古川孝広 (第2回 RFL マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞受賞者)
～20:00	終了予定 ※このパネルディスカッションは YouTube で生放送配信予定です https://www.youtube.com/user/usembassytokyo/live ※敬称略

RFL マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞とは

日本での臨床試験の推進、および地域がん医療の拡充に貢献する若手医師の育成が目的の奨学制度です。米国テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター (MDACC) の協力と一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクトの支援を受け、MDACC の上野直人教授のアドバイスのもと、2010 年度にスタートしました。運営の資金は、がん征圧・患者支援の「リレー・フォー・ライフ・ジャパン (RFLJ)」に寄せられる寄付です。日本対がん協会が、各地のボランティア実行委員会と一緒に、一年を通して寄付金集めやリレーイベントなどを開催しています。

MDACC は開設以来 74 年余の歴史を有し、全米 No.1 と評されているがん専門医療施設です。シカゴ大学医学部は、88 年の歴史の中で、ノーベル医学・生理学賞を 11 人輩出した全米屈指の大学です。

いずれの施設も、基礎と臨床が融合した臨床研究を推進し、世界のがん医療を牽引しています。

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします。

■日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパンチーム 担当:岡本(電話 03-5218-4771)



公益財団法人

日本対がん協会

〒100-0006

東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町センタービル(マリオン)13階

TEL 03-5218-4771 FAX 03-5222-6700